
君と星との間で

Tom106

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と星との間で

【Zコード】

Z0828Z

【作者名】

Tom106

【あらすじ】

人見知りで、女子が苦手な主人公

天童 星馬がある日、突然、恋をする！？

果たしてその理由は？

プロローグ

一緒にいこつよ……

星のよく見える丘に……

僕は、どこにでもいそうな中学生である。

普通な中学生………と言いたい所だがそれは少し言えない。

なぜなら

僕以上に、人見知りで、女子にどう接していいかわからない人間はないだろう。

それゆえに、恋愛ができないのであるのである。
いや、恋愛の仕方がわからない

と言つたほうがいいだろう。

ちなみに、僕の名前は

天童 星馬

と言つ。

なぜ、僕の親がこの名前をつけたのかは
なぜか、教えてくれない。

人見知りが激しい僕でも、友達はいる。
多くはないけど……

「おい、待つてくれよ」
話しかけてきたのは、神野 真斗かみの しんと
僕の一番の友達。

「はあ、はあ……やつと追いついた。何も言わず帰んなよ。いつも一緒に帰つてんのにや」

「ああ……『メン……』
「すぐに謝んなよ。男だろ?」
「男だけど……」

「なら、その弱気な性格どうにかしろよ」

「うん……」

この性格は、僕のコンプレックスなんだけどな……
直せないのが現実だつた……

この日の帰り道は、真斗にいろいろ言われながら帰つた。

翌日

平凡な毎日の中なかに、小さなイベントがあつた。
学校に着いて席に着く。

「今日は転校生を紹介する。仲良くしてくれ、入ってきてくれ~」
この時期に転校生?

季節は、6月の「じせつ」
「東中学校からきました、天野あまの 雲 じやくです。よろしくお願いします」
この瞬間、僕は、何かに落ちた感じがした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0828z/>

君と星との間で

2011年12月5日21時48分発行